



とんけし

学校の教育目標

- 思いやりのある子
- 深く考える子
- からだを鍛える子



富岸小学校 学校だより No.11 令和7年1月30日

ホームページ http://www.noboribetsu.ed.jp/~tn_info/

新たな1年に臨む

～「よいところ・長所」に目を向けて

校長 小野島 晶

既に月末で大変遅くなりましたが、保護者の皆様・地域の皆様、改めまして本年もどうぞよろしくお願いたします。全ての方にとりまして、実り多き1年となりますようお祈りしております。

さて、迎えた3学期は「1月往ぬる、2月逃げる、3月去る」の言葉どおり、あっという間に終わります。いつものとおり、子供たちには“目標設定・実行”の大切さを始業式で伝え、さらなる努力とこの1年のまとめ（自身の成長実感につなげてほしい）を確実にするよう働きかけました。

新年を迎える際、「今年こそは、…」と誰もが気持ちを新たにし、自分に期待をかけるものです。これは、子供も大人も同じだろうと思います。とかく私たちは反省に重きを置きがちですが、何かをきっかけに、“心機一転”新しいことにチャレンジするなど、“先を見る”視点は大事なスタンスと考えます。課題をしっかりと反省しないのも考えものですが、それに引張られ過ぎるのもよくありません。特に、自己肯定感が高くないと言われる日本人には、“プラス思考”が大事なように思います。

これは子供たちを見ていると感じることがあります。

「僕は〇〇が苦手。頑張ってもどうせ変わらない…」

「～が上手な〇〇さんには、とてもかなわないな…」

など、友達と比較し、必要以上に自分を過小評価する面も見られます。

学校では、“一人一人は違うこと” “一人一人にはよさ・持ち味・強みが必ずあること”などを伝えながら、個性を發揮させ協力する力を高めるべく、集団として育てる場面・活動を大切にしています（学習発表会などは、まさにそうです）。

これが“自己肯定感（自分のよさ・自尊感情）” “自己有用感（自分が役立っている）”の醸成につながります。学校が「ウェルビーイング（よりよい状態）」を重視するのは、心の余裕が、自分への期待とともに、他者への丁寧な関わり・やり取りにつながるからです。

子供も大人も、よりよい状態で、多様な他者と柔軟に関われること。折合いを付けられること。どんな状況でも前向きに取り組めること…。学校経営の方針である“人とかがわり、つながり、自己発揮できる力”を児童に育むべく、一層努めてまいります。

さくら連絡網を確認していますか

学校からの連絡は、主に「さくら連絡網」を通じて行っております。今まで紙配布が主なものでしたが、さくら連絡網に切り替えたことで、1日に何度もさくら連絡網が届くことがあります。

お知らせの中にはとても重要なものがあります。見落とししてしまうことで不利益が生じることもあります。

多数の配信でご負担をおかけすることもあります。学校としては、大切な情報を確実にご家庭に届けたいと考えております。お手数ですが、届いたさくら連絡網は必ずチェックしてください。

見落としを防ぐため、メールの標題に次の言葉を添えます。

【緊急】：急ぎ、必ず読んでください。

【重要】：必ず読んでください。

【情報】：学校生活に関わる情報

【提供】：各種団体からの情報

※【緊急】【重要】のメールが未読の場合、学校から連絡させていただくことがあります。

2月の行事

3日(月)	全校朝会
4日(火)	新入学児一日入学
7日(金)	三校一声
8日(土)	PTAもちまき
11日(火)	建国記念の日
12日(水)	参観日(中) こぐま号246年
13日(木)	参観日(高・特別支援)
14日(金)	参観日(低)
17日(月)	家庭学習強化週間(～21日) 児童活動日(最終)
19日(水)	スキー学習5年 特支2345年弁当日
20日(木)	B日課 5時間授業 もみの木こども園交流(1年)
23日(日)	天皇誕生日
24日(月)	振替休業日
25日(火)	6年身体測定 返本週間(～28日) こぐま号135年
26日(水)	鬼っ子算数教室 こぐま号246年

北海道青少年科学技術振興作品展

6年2組 宮崎 将宗
北海道教育委員会教育長賞
「クランク式ナットセッター」

北海道珠算選手権大会

6年2組 梁川 翔真
読上暗算 12位 読上算 18位
個人総合 20位

感染症予防にご協力を

3学期が始まり、近隣の学校で学級閉鎖・学年閉鎖が起きております。今年の冬は、インフルエンザやコロナだけではなく、溶連菌感染症も流行しています。また、ノロウイルスや大陸からのヒトメタニューモウイルスも流行する恐れがあります。学校では、手洗い・うがい、休み時間の換気、マスク着用の奨励を行い、感染予防に努めています。

男女共同参画社会に向けた作品展

習字部門入賞 5年1組 工藤莉乃愛 「成長」
標語部門入賞
6年1組 平岡 聖菜
「個性を尊重し みんなが笑顔で 暮らせる社会」
6年2組 毛利 龍太郎
「このよの中 男女ともにかえよう 未来のために」

登別市小中学生読書感想文コンクール

6年1組 吉田 吏玖 「日々挑戦、日々成長」
(市内小学生代表朗読者)
5年1組 山下 真直 「百年後の水を守る」
5年2組 大町 波瑠 「ゴミに住む魚たち」
5年2組 木田 柚菜里 「ぼくはうそをついた」